



欄に数値またはコメントを記入

1. 建物概要					
建物名称	株式会社登子流通 白須賀倉庫新築工事	BEE	0.7	BEEランク	B-
				★★	

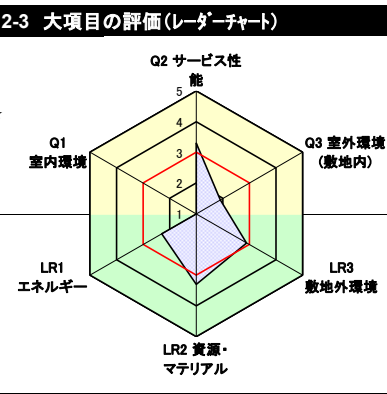
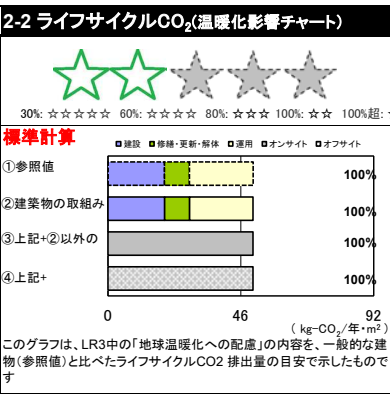
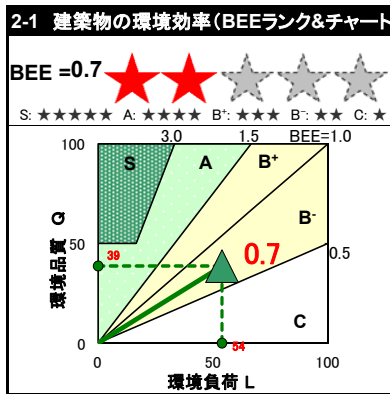
2. 重点項目への取組み度					
重点項目	得点 <sup>※</sup> /満点	取組み度	評価		
"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進 (Global Warming)	3.0 /5		ふつう		
"災害に強いしずおか"の形成 (Disaster)	2.8 /5		がんばろう		
"しずおかユニバーサルデザイン"の推進 (Universal Design)	2.4 /5		がんばろう		
"緑化及び自然景観"の保全・回復 (Nature)	2.0 /5		がんばろう		
※対応するCASBEEのスコア(平均)を5点満点で表示します。(スコア1.0=1点、スコア5.0=5点)		評価 凡例	よい 4 点以上	ふつう 3 点以上	がんばろう 3 点未満

3. 重点項目についての環境配慮概要		内訳対応項目		
各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。		得点	3.0	
<b>"ふじのくに地球温暖化対策実行計画"の推進(Global Warming)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室内環境対策 (①室温制御/②昼光対策/③グレア対策/④部品・部材の耐用年数) ④給水VP(B)、VLP(B)、排水VP(B)、冷媒管(C)、Eは不使用。</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑤生物環境の保全と創出/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。</li> <li>■エネルギー対策 (⑦建物外皮の熱負荷抑制/⑧自然エネルギー利用/⑨設備システムの高効率化/⑩効率的運用) 特になし。</li> <li>■資源・マテリアル対策 (⑪水資源保護/⑫非再生性資源の使用量削減/⑬汚染物質含有材料の使用回避) ⑪節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。 ⑫床材:ビニル床シート、便器。 ⑬LGS使用している。 ⑬ODP=0、GWP=3の発泡剤を用いた断熱材を採用。</li> <li>■敷地外環境対策 (⑭地球温暖化への配慮/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし。</li> </ul>	Q-1 2 2.1 2.1.2 ① Q-1 3 3.1 3.1.3 ② 3.2 3.2.1 ③ Q-2 2 2.2 2.2.1 ④ 2.2.2 ④ 2.2.3 ④ 2.2.4 ④ 2.2.5 ④ 2.2.6 ④ Q-3 1 3 3.2 ⑥ LR-1 1 2 3 4 4.1 4.2 LR-2 1 1.1 1.2 1.2.1 1.2.2 ⑪ 2 2.1 2.2 ⑫ 2.3 ⑫ 2.4 ⑫ 2.5 ⑫ 2.6 ⑫ 3 3.1 ⑬ 3.2 3.2.1 ⑬ 3.2.2 ⑬ 3.2.3 ⑬ LR-3 1 2 2.2 ⑭ ⑮	① 外皮性能 ② 昼光利用設備 ③ 昼光制御 ④ 躯体材料の耐用年数 ④ 外壁仕上げ材の補修必要間隔 ④ 主要内装仕上げ材の更新必要間隔 ④ 空調換気ダクトの更新必要間隔 ④ 空調・給排水配管の更新必要間隔 ④ 主要設備機器の更新必要間隔 ⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑦ 建物外皮の熱負荷抑制 ⑧ 自然エネルギー利用 ⑨ 設備システムの高効率化 ⑩ モニタリング ⑩ 運用管理体制 ⑪ 節水 ⑪ 雨水利用システム導入の有無 ⑪ 雑排水等利用システム導入の有無 ⑫ 材料使用量の削減 ⑫ 既存建築躯体等の継続使用 ⑫ 躯体材料におけるリサイクル材の使用 ⑫ 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑫ 部材の再利用可能性向上への取組み ⑬ 有害物質を含まない材料の使用 ⑬ 消火剤 ⑬ 断熱材 ⑬ 冷媒 ⑭ 地球温暖化への配慮 ⑮ 温熱環境悪化の改善		
	<b>"災害に強いしずおか"の形成(Disaster)</b>			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑯耐震・免震/⑰信頼性) 特になし。</li> </ul>	Q-2 2 2.1 2.1.1 ⑯ 2.1.2 ⑯ 2.4 2.4.1 ⑰ 2.4.2 ⑰ 2.4.3 ⑰ 2.4.4 ⑰ 2.4.5 ⑰	⑯ 耐震性 ⑯ 免震・制振性能 ⑰ 空調・換気設備 ⑰ 給排水・衛生設備 ⑰ 電気設備 ⑰ 機械・配管支持方法 ⑰ 通信・情報設備	
	<b>"しずおかユニバーサルデザイン"の推進(Universal Design)</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>■サービス性能対策 (⑱機能性・使いやすさ/⑲心理性・快適性/⑳空間のゆとり) ⑳[壁長さ比率]&lt;0.1。</li> <li>■室外環境(敷地内)対策 (㉑地域性・アメニティへの配慮) 特になし。</li> </ul>	Q-2 1 1.1 1.1.3 ⑱⑲ 3 3.1 3.1.1 ⑳ 3.1.2 ㉑ Q-3 3 3.1 ㉑	⑱ ユニバーサルデザイン計画 ⑲ 階高のゆとり ⑲ 空間の形状・自由さ ㉑ 地域性への配慮、快適性の向上		
<b>"緑化及び自然景観"の保全・回復(Nature)</b>				
<ul style="list-style-type: none"> <li>■室外環境(敷地内)対策 (⑥生物環境の保全と創出/㉒まちなみ・景観への配慮/⑥敷地内温熱環境の向上) 特になし。</li> <li>■敷地外環境対策 (⑫持続可能な森林から産出された木材/⑮温熱環境悪化の改善) 特になし。</li> </ul>	Q-3 1 2 3 3.2 LR-2 2 2.5 LR-3 2 2.2	⑤ 生物環境の保全と創出 ⑥ まちなみ景観への配慮 ⑥ 敷地内温熱環境の向上 ⑫ 持続可能な森林から産出された木材 ⑮ 温熱環境悪化の改善		

# CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE 建築(新築)2021年SDGs対応版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD\_NC\_2021SDGs(v1.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	株式会社笠子流通 白須賀倉庫新築工事	階数	地上2F
建設地	静岡県湖西市白須賀字宿南3140番地、3141番1、3141番2、3141番3、3142番1、3145番地、3146番地、3148番地、3149番地、3151番2	構造	S造
用途地域	用途地域指定なし、防火地域指定なし	平均居住人員	75 人
地域区分	6地域	年間使用時間	3,650 時間/年(想定値)
建物用途	工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年12月 予定	評価の実施日	2023年04月14日
敷地面積	5,993 m <sup>2</sup>	作成者	株式会社アクト建設一級建築士事務所 百台山 浩寿
建築面積	2,927 m <sup>2</sup>	確認日	
延床面積	3,177 m <sup>2</sup>	確認者	



### 2-4 中項目の評価 (バーチャート)

**Q のスコア = 2.5**

Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
Q1のスコア = 0.0	Q2のスコア = 3.3	Q3のスコア = 1.9
音環境: N.A., 温熱環境: N.A., 光・視環境: N.A., 空気質環境: N.A.	機能性: N.A., 耐用性: 2.9, 対応性: 3.7	生物環境: 1.0, まちなみ: 3.0, 地域性・地域性: 1.5

### LR 環境負荷低減性

**LR のスコア = 2.8**

LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
LR1のスコア = 2.3	LR2のスコア = 3.3	LR3のスコア = 2.9
建物外皮の: N.A., 自然エネ: 3.0, 設備システ: 2.0, 効率的: 3.0	水資源: 3.4, 非再生材料の: 3.3, 汚染物質: 3.3	地球温暖化: 3.0, 地域環境: 2.8, 周辺環境: 3.0

### 3 設計上の配慮事項

<b>総合</b> CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版による評価結果。	<b>その他</b> 特になし。	
<b>Q1 室内環境</b> 対象外。	<b>Q2 サービス性能</b> 給水VP(B)、排水VP(B)、冷媒管(C)、Eは不使用。そして、[壁長さ比率]<0.1。また、床荷重:3900N/m <sup>2</sup> 。	<b>Q3 室外環境(敷地内)</b> 外構緑化指数=26%。
<b>LR1 エネルギー</b> 特になし。	<b>LR2 資源・マテリアル</b> 節水コマなどに加えて、節水型便器も採用している。そして、床材:ビニル床シート、便器。また、LGS使用している。	<b>LR3 敷地外環境</b> 燃焼機器を使用しません。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される